

2015年2月14日(土)

登校拒否、 ずる休み、

うつ病、 **仮病**等を呈す

人獣共通感染症(Zoonosis)

シンポジウム！！

< **緊急**: **デング熱、エボラ出血熱**の重要情報も >

主催: Zoonosis協会、一般社団法人 家庭動物愛護協会

協賛: (公社) 日本動物病院協会(JAHA)、(公社) 日本愛玩動物協会、(公社) 東京都獣医師会、(公社) 千葉県獣医師会、(公社) 横浜市獣医師会、(一社) 日本小動物獣医師会(JSAVA)、(公社) 日本動物福祉協会、(公財) 日本動物愛護協会、狂犬病臨床研究会、動物との共生を考える連絡会、(一社) 埼玉県獣医師会

日時: 2015.2.14(土) 13:00~16:00

場所: 豊島公会堂(大ホール) 池袋駅東口徒歩5分

参加費: 無料

連絡先: 090-3696-1248

① Zoonosis総論・最新知見

< **Q熱、パスツレラ症、エボラ出血熱、デング熱** >

(荒島康友: 日本大学医学部 助教)

② **Q熱**感染による症例(**登校拒否**, **うつ病**, **耳痛**)

(矢久保修嗣: 日本大学医学部 准教授)

③ 患者の立場から(自分の場合は)

(患者代表: **Q熱**初症例患者)

④ 質疑応答

登校拒否、ずる休み、うつ病、仮病等を呈す

人獣共通感染症(Zoonosis)シンポジウム！！

私達は、不特定の症状、なかでも微熱、微熱からは考えられないような強い倦怠感を主要症状とし、その他、喘息様症状、思考力低下、咽頭違和感、腹痛、頭痛、耳痛、など多様な症状を呈する新しい慢性型Q熱であるQFS (post Q fever fatigue syndrome) の診療・研究を十数年間行っています。そして、これら患者の多くが、学校や職場、家庭において、今回のテーマのような病名を付けられていることが確認されています。

現在までに不特定の愁訴で来院した患者の約20%がQFSです。そして現在、我々は本邦においてQFSの患者が約350万人前後存在すると考えています。

しかし、QFSの社会的認知度が低く、多くの患者がドクターショッピング状態で放置されているのが現状です。

そこで、今回、未だ診断がなされずにいる多くの患者の方々を見だし、診断、治療が行われることを願いシンポジウムを開催致します。

サポート会員募集

Zoonosis協会、および一般社団法人 家庭動物愛護協会では、今後予定される講演会、イベント等のポスター作成、イベント企画、事前準備、放送、会場整理等のサポートをして頂けるサポート会員を募集中です。

身近なイヌ、ネコ達と人の良い関係を作ってゆくために、一緒に参加して頂ける方を募集致します。

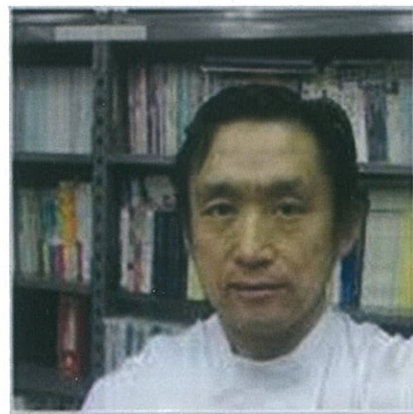
サポート会員担当:090-3696-1248

【講師紹介】



日本大学医学部
内科学系統合和漢医薬学分野
准教授 矢久保 修嗣

研究テーマ:漢方医学, 人獣共通感染症(Q熱)
漢方医学教育など。
日本で育まれた漢方医学を臨床で活かしていく。



日本大学医学部
病態病理学系臨床検査医学分野
助教 荒島 康友

研究テーマ:人獣共通感染症[Q熱(QFS)、パスツレラ症等]、サプリメントの可能性、自家農法、など。
ガイア理論に基づく、地球のお医者を目指す！
飼育ペット:豆芝、日本ネコ、メダカ、(零余子)